

“木の家暮らし”を  
始めませんか。



平成28年度  
いばらき地域適合型木造住宅コンペ作品集

茨城の気候風土で育まれた

県産材の魅力あふれる家をご紹介します。

「木の家暮らし」を始めませんか。



地元の大工が地元の木で作る。  
日本の「いい家」のつくりかた。

■地元の大工が地元の木で建てるという家になる、  
と言われます。南北に長い日本は気象や地理条件  
が地域で異なり、その土地独自の材の選び方、組  
立方など長年積み重ねられた経験や工夫を取り入  
れる地元の大工こそが、長く住める家を建てられ  
るからです。また、地域大工・工務店は完成後も  
きめ細かいアフターメンテナンスや修繕に対応し  
ます。地域には信頼関係に根ざした安心できる家  
づくりのシステムが構築されていたのです。■茨  
城県では家づくりの原点に戻り、地域が育んだ木  
材を利用し現代のライフスタイルに合う木造住宅  
を適正な価格で提供するため、地域の木工・工務  
店と建築設計事務所が連携・協力しながら、家づ  
くりを通して建築主との信頼関係を育てていく、  
安心と信頼の地域ルール「いばらき地域適合型木  
造住宅供給システム（自然が育み、人の和が育て  
る）」を確立したいと考えています。■関連事業  
者の連携、協力のもとに提供された良質な木造住  
宅の企画や提案を含む建築実例を募集し、ここに  
まとめました。皆様の家づくりの検討の一助とな  
れば幸いです。

## Concept note

## Contents

●いばらきの家／匠：(株)茨城県南木造住宅センター設計事務所＋(株)茨城県南木造住宅センター	01
●自然を楽しむ平屋の住まい	02
●大雄院通りの家	03
○海のみえる家	04
○バリアフリーな木の家	04
○旧家の再生	05
○ふるさとなじむ回廊と大屋根の家	05
○田園に佇むライフフリーリビングの家	06
○おおあらいの家	06
○森の中の隠れ家	07
○ペントハウスの家	07
○アーバンアウトドアの家	08
○光と風と景色と暮らす家	08
【講評】	10
歴代最優秀賞のご紹介	12

●…平成28年度いばらき地域適合型住宅コンペ最優秀賞作品 ●…優秀賞作品

※表紙および作品紹介以外のページに掲載された写真はすべて「最優秀賞：いばらきの家／匠」のもので、  
※受賞者の意向等により、「坪単価」「延床面積」等の掲載がない作品もございます。ご了承ください。 ※各作品の「坪単価」は税別価格です。



最優秀

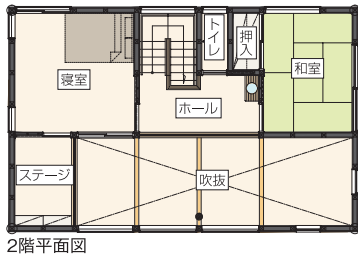
いばらきの家／匠



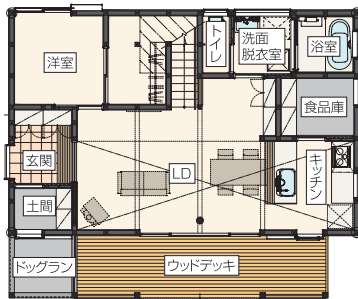
2階ホール・吹抜／県産木材が広がる空間は、心も身体も癒してくれる



外観／ウッドデッキを囲むことでプライバシーを守る



2階平面図



1階平面図

申請者：(株)茨城県南木造住宅センター  
 設計事務所 029-852-8010  
 工事施工者：(株)茨城県南木造住宅センター  
 029-852-8010  
 延床面積(坪)：144.75m<sup>2</sup>(43.79坪)  
 1階床面積：72.35m<sup>2</sup>(21.89坪)  
 2階床面積：72.40m<sup>2</sup>(21.90坪)

「室内は、床材をすべて  
 通り抜ける心地良い空間となり  
 ます。」  
 ■施主の希望は、出来る限り自  
 然素材を使用し、構造材はもち  
 ろん内装材も無垢材にこだわった、  
 体に優しく心地よい家。自然の恵  
 みを利用するパッシブ性能を十分  
 に発揮するよう、南面開口を多  
 く取り、風がスムーズに流れるよ  
 う、東西に長く南北に短い建物と  
 した。「南面の軒を深く設け開口  
 部を取ることで、夏の日差しを遮  
 り、冬の日差しを室内に取り込む  
 ようにした。また、ウッドデッキに  
 面したLDの開口部を全開口す  
 ると、外部へとそのままつながつて  
 いるような開放的が得られ、風が  
 通り抜ける心地良い空間となり  
 ます。」  
 ■室内は、床材をすべて

「住む人と環境にやさしいこ  
 とを積極的に取り入れた家。「宅  
 地と景観緑地を備えた理想的な  
 場所」で自然の恩恵を受けながら、  
 快適な暮らしを楽しんでいらっ  
 しゃいます。」

「冬場  
 は、LDに設けたペレットストーブ  
 で家全体を暖めることもできま  
 す。」  
 ■施主の希望は、出来る限り自  
 然素材を使用し、構造材はもち  
 ろん内装材も無垢材にこだわった、  
 体に優しく心地よい家。自然の恵  
 みを利用するパッシブ性能を十分  
 に発揮するよう、南面開口を多  
 く取り、風がスムーズに流れるよ  
 う、東西に長く南北に短い建物と  
 した。「南面の軒を深く設け開口  
 部を取ることで、夏の日差しを遮  
 り、冬の日差しを室内に取り込む  
 ようにした。また、ウッドデッキに  
 面したLDの開口部を全開口す  
 ると、外部へとそのままつながつて  
 いるような開放的が得られ、風が  
 通り抜ける心地良い空間となり  
 ます。」  
 ■室内は、床材をすべて

「冬場  
 は、LDに設けたペレットストーブ  
 で家全体を暖めることもできま  
 す。」  
 ■施主の希望は、出来る限り自  
 然素材を使用し、構造材はもち  
 ろん内装材も無垢材にこだわった、  
 体に優しく心地よい家。自然の恵  
 みを利用するパッシブ性能を十分  
 に発揮するよう、南面開口を多  
 く取り、風がスムーズに流れるよ  
 う、東西に長く南北に短い建物と  
 した。「南面の軒を深く設け開口  
 部を取ることで、夏の日差しを遮  
 り、冬の日差しを室内に取り込む  
 ようにした。また、ウッドデッキに  
 面したLDの開口部を全開口す  
 ると、外部へとそのままつながつて  
 いるような開放的が得られ、風が  
 通り抜ける心地良い空間となり  
 ます。」  
 ■室内は、床材をすべて

「冬場  
 は、LDに設けたペレットストーブ  
 で家全体を暖めることもできま  
 す。」  
 ■施主の希望は、出来る限り自  
 然素材を使用し、構造材はもち  
 ろん内装材も無垢材にこだわった、  
 体に優しく心地よい家。自然の恵  
 みを利用するパッシブ性能を十分  
 に発揮するよう、南面開口を多  
 く取り、風がスムーズに流れるよ  
 う、東西に長く南北に短い建物と  
 した。「南面の軒を深く設け開口  
 部を取ることで、夏の日差しを遮  
 り、冬の日差しを室内に取り込む  
 ようにした。また、ウッドデッキに  
 面したLDの開口部を全開口す  
 ると、外部へとそのままつながつて  
 いるような開放的が得られ、風が  
 通り抜ける心地良い空間となり  
 ます。」  
 ■室内は、床材をすべて

「冬場  
 は、LDに設けたペレットストーブ  
 で家全体を暖めることもできま  
 す。」  
 ■施主の希望は、出来る限り自  
 然素材を使用し、構造材はもち  
 ろん内装材も無垢材にこだわった、  
 体に優しく心地よい家。自然の恵  
 みを利用するパッシブ性能を十分  
 に発揮するよう、南面開口を多  
 く取り、風がスムーズに流れるよ  
 う、東西に長く南北に短い建物と  
 した。「南面の軒を深く設け開口  
 部を取ることで、夏の日差しを遮  
 り、冬の日差しを室内に取り込む  
 ようにした。また、ウッドデッキに  
 面したLDの開口部を全開口す  
 ると、外部へとそのままつながつて  
 いるような開放的が得られ、風が  
 通り抜ける心地良い空間となり  
 ます。」  
 ■室内は、床材をすべて

(株)茨城県南木造住宅センター 設計事務所 + (株)茨城県南木造住宅センター





居間／平屋ならではの高い天井で、のびやかに暮らせる

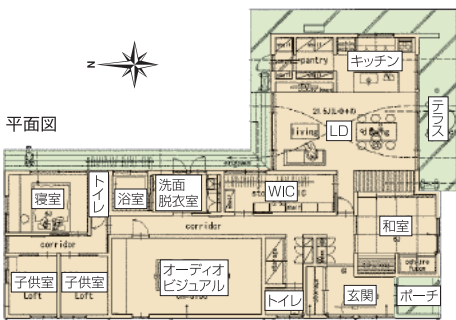


外観／屋根に段差をつけることで、単調さを無くした

周辺環境に馴染む木の質感を存分に感じられる広々とした住まい。

■敷地は、自然豊かで建物のパランスにも配慮された緑豊かな場所。平屋を建てられる程の大きさ、北側に筑波山も見え、北東には雑木林が残っている豊かな土地の住まい。「アプローチは南側道路からということで、南側側の暖かさ、北側の景観、北東側の雑木林を活かして過ごすことができ、家を提案。まず、南側の窓から、日差しと風が取り込めるよう、小さな木々を植えて、緑豊かな庭にする」ともにその庭の後ろにリビングとダイニングを配置。南北に大きな開口を設けることで、日差しや風が通り抜け、庭も景観も眺められる、心地よいリビングだ

インクにしました。平屋であることから、天井高さを十分確保できました。また、主寝室、子供室、水廻り空間は道路側から離れた静かな北側に配置しているが、景色を楽しめる魅力的な配置となっています。」■構造材として土台は県産材の桧、柱は県産材杉を使用し、約80%程度の県産材を使った。内装材については疲れにくく、冷たく感じない床を希望されたので、無垢杉のフローリング(県産材)を採用。天井にはアークセントとなる県産材杉の無垢材梁を一部あらわした。



申請者：ICA建築設計事務所 029-822-1286  
 工事施工者：(株)柴木材店 0296-43-5595  
 延床面積(坪)：156.25m<sup>2</sup>(47.17坪)  
 坪単価：646,000円



優  
秀

# 大雄院通りの家

岩瀬卓也建築設計事務所

+ (株)木楽工房

歴史と共に歩み続ける家。

大勢の来客にも対応可能な住まい。

■大雄院通りは、日立風流物(民俗文化財)として同地の神社に奉納されている山車と人形が公開されるお祭り通り。通りに面する本敷地は周囲に住居や商店が近接しており、居間の採光確保の観点から中庭を設け、一定の明るさは保ちつつも白昼には陰影の移ろいとその濃淡の幅を広げる為、吹抜と高窓を併用している。

■祭りの際は、大人数で過ごす居間と中庭の床・壁は同様の素材で仕上げ一体的な利用を促し、中庭からは離れのような感覚で和室に通す事もでき大切な客人の歓待にも配慮した。この和室には2

つ掃出し窓を設けている。ひとは中庭や居間に向けて開かれ、もうひとつは将来、隣家の減築等に伴い広がるであろう小さな庭に向けて開かれている。

■構造材は、地域材の杉と桧の無垢材を使用し、大工技術の向上/継承及び人材育成の為、すべて手刻みで加工している。その他、床、壁、天井、耐力壁や間柱、建具や収納内部、壁の下地材に至るまで合板類は一切使用せず、木材産地の統一を図り地域の循環に貢献する家づくりに努めている。



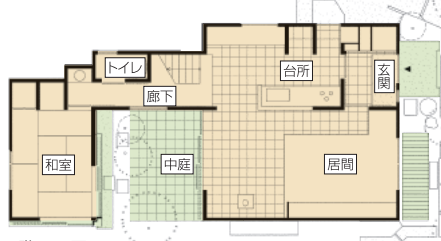
居間／ふんだんに使用された木でぬくもりを感じられる空間



外観／すっきりとした佇まいに木のアクセントが映える



2階平面図



1階平面図

申請者：岩瀬卓也建築設計事務所 0294-72-6121  
 工事施工者：(株)木楽工房 0294-85-8686  
 延床面積(坪)：109.71m<sup>2</sup>(33.19坪)  
 1階床面積：60.03m<sup>2</sup>(18.16坪)  
 2階床面積：49.68m<sup>2</sup>(15.03坪)



# 海のみえる家

K. Design Studio  
+ 根本建築



1階平面図 2階平面図

チークの床板へ光庭から降り注ぐ日差しを感じながら樺板の階段を二階へ、リビングへ入ると杉の勾配天井の伸びやかな空間が広がり大黒柱の樺がどしどしりと鎮座する。窓を開けると海風薫る爽やかな風が吹き抜ける。バルコニーの先には海が見える。別荘の様な住宅。「自然環境と対峙するのでは無く、その土地に溶け込み共存していける住宅を計画しました。」**■**構造材は県産材の杉をはじめとする、県産材の米ヒバや米杉を使用しており、化粧材も県産材を使用した。

申請者：K.Design Studio 029-224-9224  
 工事施工者：根本建築 029-265-7265  
 延床面積(坪)：245.87m<sup>2</sup>(74.22坪)  
 坪単価：810,000円  
 1階床面積：132.66m<sup>2</sup>(40.05坪)  
 2階床面積：113.21m<sup>2</sup>(34.17坪)



1階平面図 2階平面図

**■**バリアフリーでも解放感のある家。地震に強く、環境に優しい家族が身も心も安らげる自然素材の家という施主の希望に、「段差や開口幅にストレスを感じずに、家族の介護が出来る高機能かつ、気持ち良い毎日のための自然素材の家。」を実現。太陽光や自然通風を利用する「パッシブプラー」を基本とし、断熱等級4のMモジュール住宅。災害時にも対応できる高低差の無い避難路も確保。**■**構造材のほとんどを県産材と桧とし、下地材・内装材は国産材のみでまかになった「地産地消の家」。

申請者：ヒダモク 029-867-0155  
 工事施工者：(有)ヒダ 029-867-0155  
 延床面積(坪)：140.00m<sup>2</sup>(42.35坪)  
 坪単価：568,000円  
 1階床面積：81.00m<sup>2</sup>(24.50坪)  
 2階床面積：59.00m<sup>2</sup>(17.85坪)

# バリアフリーな木の家

ヒダモク



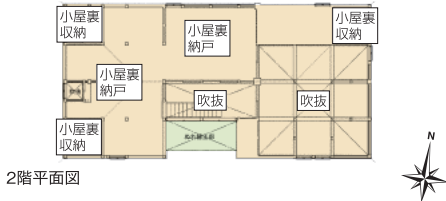
# 旧家の再生

LiveHaus建築設計所  
+ 沼田建築

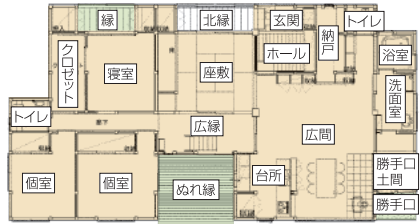


■旧街道沿いの集落に建つ百坪近い、総二階建ての古民家の再生工事。室内環境の改善はもちろん、子や孫の代の負担を抑え、大きすぎず街並みに調和しやすい佇まいを考え、平屋+屋根裏形式に減築した。通風や採光、暮らしを楽しむために、中庭は大活躍である。

■築百年の既存部分は全て、地場産材、新設部分も手持ちの山から切り出した杉、サワラ主体の計画とすることで、地元の木を使った昔ながらの地産地消建築のモデルを現代的に再現した。



2階平面図



1階平面図

申請者：LiveHaus建築設計所 029-857-6944

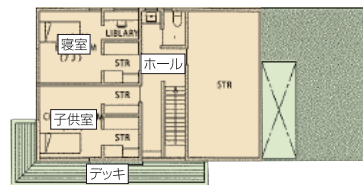
工事施工者：沼田建築

延床面積(坪)：231.20m<sup>2</sup>(69.94坪)

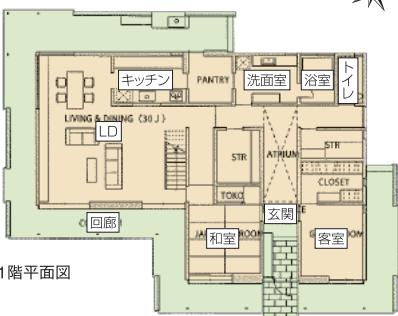
坪単価：763,000円

1階床面積：173.97m<sup>2</sup>(52.63坪)

2階床面積：57.23m<sup>2</sup>(17.31坪)



2階平面図



1階平面図

申請者：飯田貴之建築設計事務所 029-887-5332

工事施工者：(株)岡田工務店 029-841-0844

延床面積(坪)：215.86m<sup>2</sup>(65.2坪)

1階床面積：162.87m<sup>2</sup>(49.2坪)

2階床面積：52.99m<sup>2</sup>(16.0坪)



■施主家族は長くこの土地に住んでおり、ご近所との交流も盛ん。新しい家も地域になじむよう、昔ながらの瓦屋根を採用。「ゆるやかに内外をつなぐ回廊は建物の周囲をぐるりと囲んでおり、外観上のアクセントとしました。」深い軒下は建物の表情に奥行きと陰影を与え、洗濯物干しや作業場としても機能する。■地域産材の構造を魅せる内装。構造あわらし仕上げの天井と真壁作りで、地域のスギ材を用いた柱・梁を意匠的にも最大限に生かす計画としている。

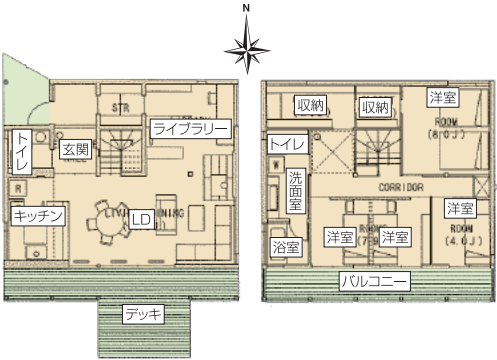
# ふるさとになじむ 回廊と大屋根の家

飯田貴之建築設計事務所  
+ (株)岡田工務店



# 田園に佇む ライブラリーリビングの家

飯田貴之建築設計事務所  
+ (株)竹屋



1階平面図                      2階平面図

申請者：飯田貴之建築設計事務所 029-887-5332

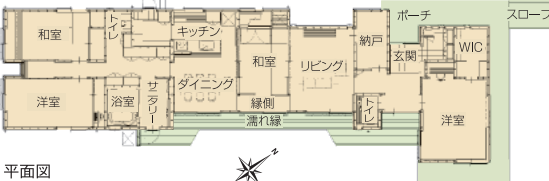
工事施工者：(株)竹屋 0297-85-6789

延床面積(坪)：141.01㎡(42.6坪)

1階床面積：62.93㎡(19.0坪)

2階床面積：78.07㎡(23.6坪)

■元々この土地に実家のあった施主家族。「代々築いてきた地域との関わりを大切にしつつも、自分たちらしく使いやすい住まいを目指しました。」がらんだような構造は、三人のお子さんの成長に合わせプランの変更もしやすくなった。1階のリビングと一体となったライブラリーは使い勝手が良い。■地域材のズギを用いた柱・梁は、構造あらかわし仕上げとすることで、木のあたたかみと構造の見える安心感を与える。床材にも足触りのよいズギ材を採用し、居心地のよい場所を作り出している。



平面図

申請者：a-su建築設計事務所 029-306-9968

工事施工者：(株)丸誠 029-252-3114

延床面積(坪)：152.78㎡(46.21坪)

■「駅に近く、観光地という事もあり、昼間は人の往来が数多くあるため、視線を切ることを考え、寝室を接道側に配し、南側に突出させて、LDと縁側の、カーテン等を常に開放できるような建物形状にて提案しました。外部については日本家屋特有の深い軒を造るため、出桁造りを用い、軒の出を1820としシンプルかつ重厚な格々を表現しました。」

■内部及び外部共に、意匠・構造のポイントとして地域材を使用。木の香り、木のぬくもりを感じられる空間とした。

# おおあらいの家

a | s u 建築設計事務所  
+ (株)丸誠





# 森の中の隠れ家

大竹建築工房  
+ 矢吹建設

■ 松の森に囲まれた自然豊かな環境に建築した住宅。南面には雑木林が広がり、東面の道路脇には大きな桜の木が春の訪れを知らせてくれる。「敷地のシンボルツリーでもあるこの桜を、住宅の中にも取り入れていくかを考えました。」■ 外断熱工法を採用し、内部は八溝山系の杉を構造材として表しとした。内装はビニールクロスを用いず、地元で採れた杉を羽目板やフローリングに加工して使用。サッシは全てLOW-E複層ガラスとしている。太陽光発電とエコキュートを設置する事で、今後のZEH住宅にも対応できるスペックを確保している。

申請者：大竹建築工房 0296-71-8516

工事施工者：矢吹建設 029-233-6840

延床面積(坪)：97.29m<sup>2</sup>(29.43坪)

坪単価：590,000円

1階床面積：59.62m<sup>2</sup>(18.04坪)

2階床面積：37.67m<sup>2</sup>(11.39坪)



1階平面図

申請者：生空感建築研究所 0297-44-4472

工事施工者：(株)いえつなぎ 0294-33-7081

延床面積(坪)：137.96m<sup>2</sup>(41.73坪)

坪単価：584,000円

1階床面積：108.60m<sup>2</sup>(32.85坪)

2階床面積：29.36m<sup>2</sup>(8.88坪)



# ペントハウスの家

生空感建築研究所  
+ (株)いえつなぎ

■ 美容室付き住宅。「道路面からは一切の生活感を見せずに、平屋の店舗専用建物のように見える設計とした。」ペントハウスから続く陸屋根はプライベートルーム。誰からも見られないよう陸屋根の奥行きを計算し設計しているため、バーベキューも読書も自由に楽しめる。■ 構造部に県産材を使用し、地域の風土にあった構造躯体が生活の安全を守る。リビングの大空間や店舗に、県産材の梁と柱など、構造躯体をあえて見せることで、モダンなインテリアに温かみを添えている。

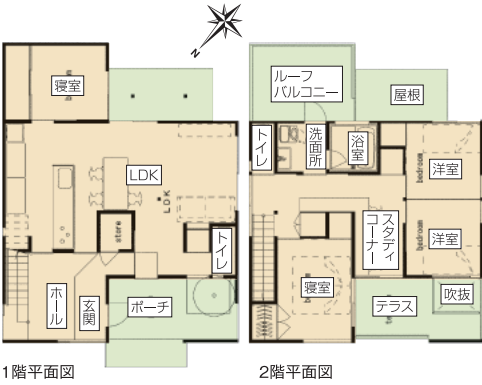


# アーバンアウトドアの家

生空感建築研究所  
+ (株)いえつなぎ



■新興住宅街に建つ家。「暮らしの中に自然が寄り添う『アーバンアウトドア』な暮らしを提案しました。建物内部と外部の境目をあいまいにし、室内に居ながら常に外部空間を感じられます。来客が多い暮らしのため、来客用玄関を設けることで、家事動線と来客の動線が交わらないように調整しました。」■室内主要な床材は、県産材の杉板を使用。構造部には県産材を使用。地域の風土を感じるばかりではなく、県産材に命と財産を守られる安心感を。



申請者：生空感建築研究所 0297-44-4472  
 工事施工者：(株)いえつなぎ 0294-33-7081  
 延床面積(坪)：116.26m<sup>2</sup>(35.16坪)  
 坪単価：612,000円  
 1階床面積：62.93m<sup>2</sup>(19.03坪)  
 2階床面積：53.33m<sup>2</sup>(16.13坪)

# 光と風と景色と暮らす家

ICA建築設計事務所  
+ 郡司建築工業所



■つくば市街地と市街地の間の緑豊かな田園風景のなかにある敷地。南側には開けた田畑があり、敷地の背後には、雑木林があり、比較的眺めも悪くない比較的恵まれたロケーション。「エントランスから必ずリビングを通過する空間構成で、リビング・ダイニングは家の中心にあり、全体の機能を統合しており、その空間構成により、家族はあまり意識せず自然にコミュニケーションをとることが出来ます。」■全体として約70%程度の県産材の桧や杉を使用。床は無垢フローリングを要望され、ナラを使用しました。壁等は粘土塗料の自然素材を使用しています。



申請者：ICA建築設計事務所 029-822-1286  
 工事施工者：郡司建築工業所 0296-22-3804  
 延床面積(坪)：119.63m<sup>2</sup>(36.11坪)  
 坪単価：700,000円  
 1階床面積：65.21m<sup>2</sup>(19.68坪)  
 2階床面積：65.49m<sup>2</sup>(19.77坪)





「いばらき地域適合型木造住宅」とは？

気候風土を踏まえ、地域材を活用してつくる家。

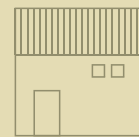
茨城県の気候・風土等の地域性を踏まえ、地域材(\*)を活用し、かつ、ユーザーにとって充実感のある住宅とし、これからの木造住宅の指針となるべきコンセプトを明確にした住まい。

※地域材とは次のいずれかに該当する木材及び木材加工品。

- ①県内の森林から生産された原木により製材されたもの。②県内の製材事業所で製材されたもの。

【主な設計基準】

- (1) 地域材を構造材全数量の50%以上使用していること。
- (2) 内装材として、地域材を積極的に活用し、快適でやすらぎのある住空間とすること。
- (3) 住宅の長期の耐久性を確保し、また、地域の自然、景観、生活様式等と調和し、世代を超えて継承・持続されるような工法・間取り・デザイン等を採用すること。



なぜ地域材がいいの？

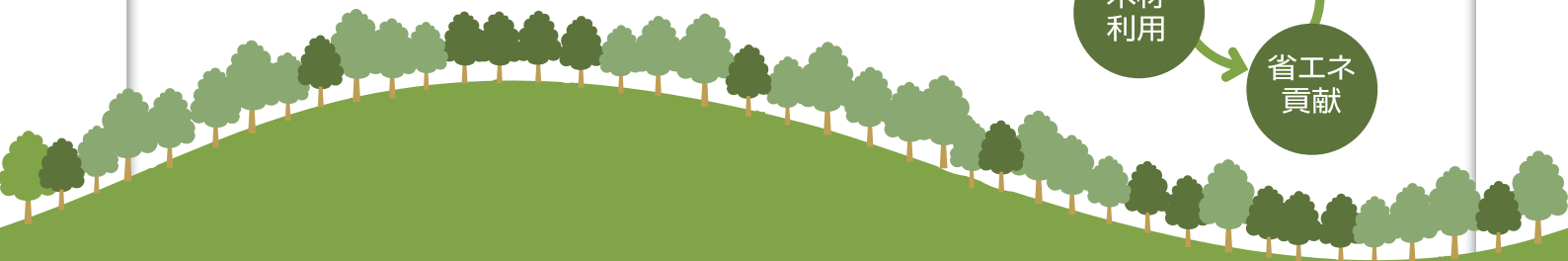
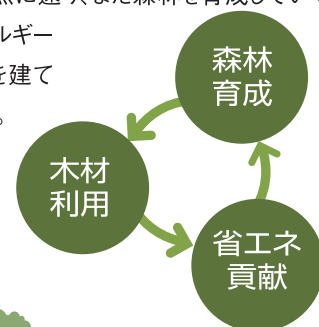
地域の森林の活性化を図り、地球にやさしい家づくりができる。

■森林は、化石燃料などの代替エネルギーとして注目されています。成長期に高レベルの二酸化酸素削減効果を発揮し、地球温暖化の防止策としても役立ちます。■地域の森林資源を積極的に活用し、同時に植林を進め、常にバランスのとれた循環を整え、資源を生み出しながら、地球環境保護に貢献する森林を育成できる。地域材を使用する意義はここにあります。

地球環境を守るサイクルとは？

「森林育成」「木材利用」「省エネ貢献」。次代につなぐ、大切なサイクルです。

■森林を育成するためには、木材の利用を促進する必要があります。木材で建築資材を作ることは、他の原料よりも効率がよく、また余分なエネルギーがかかりません。冷暖房費の節約にもつながり、省エネへの貢献度も決して小さくありません。■家づくりに用いられた木材が、いずれ土をはじめとする自然に還り、また森林を育成していく…。自然の循環、持続可能なエネルギー確保のために、木を使って家を建てることは、非常に有用なのです。





「平成二十八年年度いばらき地域適合型木造住宅コンペ」の審査を終えて

一般社団法人 茨城県建築士会  
会長 柴 和伸



平成二十八年年度「いばらき地域適合型木造住宅コンペ」には、建築設計事務所と地域の工務店、そしてそれぞれの専門技術者の皆さんが協力し合いながら知恵を結集し、地域が育んだ地域材を活用し、現代のライフスタイルにあわせた木造住宅十八作品の応募がありました。

竣工した住宅作品によるコンペは今年で六回目を迎え、設計者・施工者の経験と知恵を傾注し、今回もそれぞれの作品が敷地を有効に活かし周辺環境に調和した作品となっています。設計者・施工者それぞれの経験や知恵によって培われた専門技術を注いだ住宅は、改めて気候風土を踏まえ、地域材を活用した木造住宅の素晴らしさを感じさせてくれました。

応募作品はいずれも、茨城県産木材を用いながら、木の持つ優しさ、あたたかさを生かした力作揃いとなりました。

審査は、七名の審査委員に応募作品の中からそれぞれが五作品を選出、投票いただき、上位選出作品の中から審査員の講評をいただきながら慎重に検討の結果、最優秀作品「いばらきの家／匠」、優秀作品「自然を楽しむ平屋の住まい つくば市 日邸」、優秀作品「大雄院通りの家」の三作品に決定いたしました。惜しくも選外となった応募作品も、それぞれが県産木材を生かした力作であり、応募された方々には審査委員長として感謝申し上げますと共に、次の機会にはさらに二層の力作の応募をご期待申し上げます。

【最優秀作品】

「いばらきの家／匠」

無垢の木材や漆喰などの自然素材をふんだんに用いながら、採光や通風に配慮した、自然の恵みを生かした空間構成となっています。深い軒を兼ねる南側の広縁は、夏の強い日差しを遮りながら、冬のあたたかい陽光を取り込み、風の通り抜けとともに、パッシブな環境を生かした空間構成となっています。

自然の恵みと地木の暖かみのある素材により、住む人にやさしい心地良い住まいを創り出しています。



### 【優秀作品】

#### 「自然を楽しむ平屋の住まい」

豊里の杜の豊かな自然環境を取り込みながら、周辺の緑影を生かしたバランスの良い配置計画となっています。

日差しと風が通り抜けるリビングからは、大きな開口部を通して建物北側の庭とともに、雑木林の木立の風景が広がり、周辺の自然との一体感を演出しています。

自然採光と通風に配慮した平面計画により、豊かな自然環境と調和した、居心地の良い住環境を創り出しています。

### 【優秀作品】

#### 「大雄院通りの家」

祭りの山車がうねる「通り」に面した住宅は、街のにぎわいと接点となる居間を「お祭り通り」側に配し、街との一体感を共有できる構成となっています。

一方で、中庭を住居の中央部に配することにより日常の生活のリズムを保ちながら、日々の移ろいを季節の変化とともに感じることができる空間構成となっています。

にぎわいと静けさを感じることの出来る住まいは、プライバシーを保ちながら、街の景観に調和した住まいを創り出しています。

#### ●審査委員長

柴 和伸（二社）茨城県建築士会 会長

#### ●委員

横須賀 満夫

（二社）茨城県建築士事務所協会 会長

小薬 拓巳

（二社）茨城県建設業協会 建築委員長

森 秀男

（株）山森 取締役会長

浅川 清司

（茨城県木材協同組合連合会 木造建築部 会長）

水越 健夫

（茨城県農林水産部 次長 兼 林政課長）

海老沢 和雄

（茨城県土木部 都市局 住宅課長）

## Comment



## いばらき地域適合型木造住宅コンペ歴代最優秀作品のご紹介

「いばらき地域適合型木造住宅コンペ」が実際に竣工した住宅作品の応募によるコンペとなって今年で6年目を迎えました。

多くの方のご応募をいただいた5年間の振り返り、ここに過去5年間の歴代「最優秀受賞作品」を一挙にご紹介いたします。

時を経ても色あせず、経年変化でより味わいを増していく木造住宅の魅力あふれる作品群をご覧頂き、皆様の家づくりの一助となれば幸いです。



平成23年度（優秀賞）  
「広々とした  
ウッドデッキがある家」

（株）天建築設計事務所＋東建設（株）

ここにしかない、心地良い空間。生活をイメージして創り出す本当の「快適」。

「一般的に気持ちが良いと感じるのは、風通しや日当たりのよさなどですが、住む方にとっての気持ちよさ、快適さを追求することを目指しています。」ひとつひとつ異なる家族のスタイルに合わせて、本当の快適さをイメージした。「ウッドデッキは家族が集い、語り、共に成長する住まいのシンボルです。」

申請者  
（株）天建築設計事務所

工事施工者  
東建設（株）

延床面積（坪）  
126.30㎡（38.20坪）

坪単価  
627,000円



平成24年度（優秀賞）  
「中庭と回廊のある  
自然素材で出来た  
和モダンの家」

永井昭夫建築設計事務所＋（株）大崎材木店

施主との共感が第一歩。自然の恵みと未来を見守る家。

施主は五十代夫婦で平屋の家を希望した。「中庭とそれを囲む回廊で採光と通風を確保し、木のぬくもりを感じられる広々としたバリアフリーの住まい。施主の価値観、美意識、思想、今後の生活設計などを徹底的にヒアリングします。プロの視点で理想を実現する家づくりにより、ご満足を頂けました。」

申請者  
永井昭夫建築設計事務所

工事施工者  
（株）大崎材木店

延床面積（坪）  
177.35㎡（53.65坪）

坪単価  
726,000円



平成25年度（優秀賞）

# 「美しい屋根の連なる家」

ICA建築設計事務所＋(株)渡辺建工



三世代家族が暮らす、理想的な平屋の住まい。

「活動的で絆が深く、まとまりがある家族という印象をヒアリングから受け、それぞれの個性的な暮らしをリビング・ダイニングがながぎ、個と家族をバランスよく配置できる家を目指した。」三世代が暮らしてもゆとりある広い敷地を周囲の風景に調和させる和の平屋。中庭などのゆとりの空間が多様な暮らしを実現する家となった。



申請者  
ICA建築設計事務所

工事施工者  
(株)渡辺建工

延床面積(坪)  
189.80㎡(57.30坪)

坪単価  
632,000円

平成26年度（最優秀賞）

# 「プライベートデッキを囲む家」

(株)カナザワ建築設計事務所＋コスモ総合建設(株)



威風凛々風格を見せる和の家。統一感が環境に見事に融合。

「北東を竹林に囲まれている環境を活かし、空気に馴染むよう、日本家屋の特徴を取り入れた外観とインテリアを展開した。」プライベートデッキを囲むリビングや和室は、開放すると外と中が繋がり、大きなひとりの空間となる。「採光と共に、プライバシーを確保できる、くつろげる家族の空間です。」



申請者  
(株)カナザワ建築設計事務所

工事施工者  
コスモ総合建設(株)

延床面積(坪)  
163.13㎡(49.33坪)

平成27年度（最優秀賞）

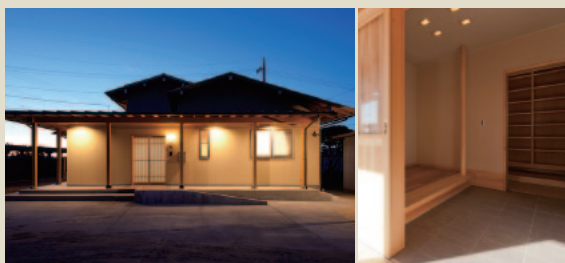
# 「吉沼の家」

藤井設計＋(株)吉田工務店



温かさのある土間が迎える、家族のつながりを重視した家。

「土間は趣味の園芸を楽しむサンルーム。冬は日差しで暖められた空気を、夏は深い軒で陽を遮り土間のひんやりした空気を、花の香りと共にリビングに運び、過度の冷暖房を抑える。独立したお子様たちをいつでも迎えられるよう、納戸と兼用のゲストルームを設置し、文字通り「迎える家」となった。」

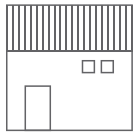


申請者  
藤井設計

工事施工者  
(株)吉田工務店

延床面積(坪)  
165.25㎡(50坪)

坪単価  
660,000円



平成28年度

いばらき地域適合型木造住宅コンペ作品集

「木の暮らし」を  
始めませんか。

この冊子は「いばらき地域適合型木造住宅」の基本的な考え方を啓発普及するために作成されたものです。掲載される記事内容はすべて各チームからの提出書類を要約したもので、「宣伝広告」を意図したものではありません。  
また当連合会では、これら各グループへの仲介斡旋は一切行っておりません。



木造住宅相談店

主 催／茨城県木材協同組合連合会

協 力／茨城県

後 援／(一社)茨城県建築士事務所協会・(一社)茨城県建設業協会

〈お問合せ先〉

茨城県木材協同組合連合会

TEL.0294-33-5121(代) FAX.0294-33-5191

〈e-mail〉[mokuren@atlas.plala.or.jp](mailto:mokuren@atlas.plala.or.jp)

茨城県土木部都市局住宅課

TEL.029-301-4759 FAX.029-301-4779